

# 令和 3 年度 病院事業決算状況

都道府県名 福井県

総務省

## - 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	県立病院	2
-	すこやかシルバー病院	3
敦賀市	市立敦賀病院	4
坂井市	坂井市立三国病院	5
越前町	国保織田病院	6
公立小浜病院組合	小浜病院	7
公立小浜病院組合	レイクヒルズ美方病院	8
公立丹南病院組合	丹南病院	9

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				福井県	
市町村・組合名					
病院名 県立病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	86,409 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	21	指定病院の状況	救臨が感へ災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	601	70.9	65.9	79.5
療養	-	-	-	-
結核	6	46.6	43.8	37.7
精神	198	69.1	69.3	74.9
感染症	4	27.5	10.5	32.4
計	809	70.1	66.3	77.8
平均在院日数(一般病床のみ)		11.3	11.3	11.8

設立団体の状況		
人口(人)	766,863	
決算規模(千円)	557,756,122	
標準財政規模(千円)	269,545,909	
財政力指数	0.40511	
経常収支比率(%)	91.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.1
	将来負担比率(%)	147.3

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	26,845,325			
1 経常収益	26,192,703			
(1) 医業収益	19,577,226			
(うち修正医業収益)	19,067,230			
入院収益	13,533,044			
外来収益	5,132,312			
診療収入計	18,665,356			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	911,870			
(うち他会計負担金)	509,996			
(2) 医業外収益	6,615,477			
(うち国・都道府県補助金)	3,568,411			
(うち他会計補助・負担金)	1,614,750			
(うち長期前受金戻入)	1,222,824			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	652,622			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	25,197,896			
2 経常費用	25,056,003			
(1) 医業費用	23,577,455			
職員給与費	10,901,451	55.7	60.2	54.0
材料費	5,655,691	28.9	25.3	29.9
(うち薬品費)	2,701,955	13.8	13.3	16.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,808,514	14.3	11.6	13.4
減価償却費	1,726,177	8.8	9.0	8.1
経費	5,203,015	26.6	22.5	19.6
(うち委託料)	2,608,547	13.3	12.5	12.7
研究研修費	52,359			
資産減耗費	38,762			
(2) 医業外費用	1,478,548			
(うち支払利息)	352,441	1.8	1.2	1.0
(3) 特別損失	141,893			
損益	1,136,700			
純損益	1,647,429			
累積欠損金	-			
経常収支比率	104.5		105.6	105.8
医業収支比率	83.0		85.1	89.1
修正医業収支比率	80.9		82.2	86.9
他会計繰入金対経常収益比率	8.1		11.3	8.3
他会計繰入金対医業収益比率	10.9		14.9	10.4
他会計繰入金対総収益比率	7.9		11.2	8.2
実質収益対経常費用比率	96.1		93.6	97.0

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	40,915,389
1 固定資産	24,452,169
(1) 有形固定資産	23,269,441
(2) 無形固定資産	3,032
(3) 投資その他の資産	1,179,696
2 流動資産	16,463,220
(1) 現金及び預金	12,284,715
(2) 未収金及び未収収益	4,053,876
(3) 貸倒引当金( )	4,410
(4) 貯蔵品	129,039
3 繰延資産	-
負債合計	36,605,070
1 固定負債	25,100,460
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	19,868,829
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	5,231,631
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	6,537,845
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,576,024
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	557,035
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,246,385
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	4,966,765
(1) 長期前受金	36,556,961
(2) 長期前受金収益化累計額( )	31,590,196
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	4,310,319
1 資本金	1,777,719
2 剰余金	2,532,600
(1) 資本金剰余金	870,580
(2) 利益剰余金	1,662,020
負債・資本合計	40,915,389
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	2,091,876	2,124,746
資本勘定繰入	1,474,876	1,168,703
計	3,566,752	3,293,449

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)			都道府県名
			福井県
市町村・組合名			
病院名	すこやかシルバー病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	7,485 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	4	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	20:1
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(代行制)
		類似区分	精神病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	100	86.2	89.0	88.2
感染症	-	-	-	-
計	100	86.2	89.0	88.2
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	766,863
決算規模(千円)	557,756,122
標準財政規模(千円)	269,545,909
財政力指数	0.40511
経常収支比率(%)	91.1
健全化 判断比率	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	12.1
将来負担比率(%)	147.3

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	819,483			
1 経常収益	819,483			
(1) 医業収益	577,115			
(うち修正医業収益)	577,115			
入院収益	489,401			
外来収益	87,714			
診療収入計	577,115			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	242,368			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	207,956			
(うち長期前受金戻入)	23,638			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	787,287			
2 経常費用	787,287			
(1) 医業費用	754,543			
職員給与費	-	-	60.2	106.2
材料費	-	-	25.3	8.8
(うち薬品費)	-	-	13.3	6.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.6	1.4
減価償却費	72,206	12.5	9.0	14.3
経費	682,337	118.2	22.5	34.9
(うち委託料)	-	-	12.5	19.5
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	32,744			
(うち支払利息)	29,372	5.1	1.2	2.4
(3) 特別損失	-			
損益				
経常収支比率	104.1		105.6	102.7
医業収支比率	76.5		85.1	60.7
修正医業収支比率	76.5		82.2	58.3
他会計繰入金対経常収益比率	25.4		11.3	31.2
他会計繰入金対医業収益比率	36.0		14.9	55.2
他会計繰入金対総収益比率	25.4		11.2	31.1
実質収益対経常費用比率	77.7		93.6	70.6

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	40,915,389
1 固定資産	24,452,169
(1) 有形固定資産	23,269,441
(2) 無形固定資産	3,032
(3) 投資その他の資産	1,179,696
2 流動資産	16,463,220
(1) 現金及び預金	12,284,715
(2) 未収金及び未収収益	4,053,876
(3) 貸倒引当金( )	4,410
(4) 貯蔵品	129,039
3 繰延資産	-
負債合計	36,605,070
1 固定負債	25,100,460
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	19,868,829
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	5,231,631
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	6,537,845
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,576,024
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	557,035
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,246,385
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	4,966,765
(1) 長期前受金	36,556,961
(2) 長期前受金収益化累計額( )	31,590,196
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	4,310,319
1 資本金	1,777,719
2 剰余金	2,532,600
(1) 資本金剰余金	870,580
(2) 利益剰余金	1,662,020
負債・資本合計	40,915,389
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	207,956	207,956
資本勘定繰入	113,071	113,071
計	321,027	321,027

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				福井県	
市町村・組合名	敦賀市				
病院名	市立敦賀病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透未訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	30,092 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	22	指定病院の状況	救臨感災輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	330	69.9	69.8	75.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	2	2.2	51.5	-
計	332	69.5	69.7	75.0
平均在院日数(一般病床のみ)		13.0	14.7	14.2

設立団体の状況		
人口(人)	64,264	
決算規模(千円)	44,686,519	
標準財政規模(千円)	17,362,674	
財政力指数	0.90	
経常収支比率(%)	91.2	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.3
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	9,329,840			
1 経常収益	9,328,954			
(1) 医業収益	7,355,312			
(うち修正医業収益)	7,009,603			
入院収益	4,258,844			
外来収益	2,392,776			
診療収入計	6,651,620			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	703,692			
(うち他会計負担金)	345,709			
(2) 医業外収益	1,973,642			
(うち国・都道府県補助金)	1,063,989			
(うち他会計補助・負担金)	460,004			
(うち長期前受金戻入)	327,694			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	886			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,371,255			
2 経常費用	8,308,088			
(1) 医業費用	7,870,805			
職員給与費	4,241,826	57.7	60.2	60.7
材料費	1,675,960	22.8	25.3	24.9
(うち薬品費)	715,922	9.7	13.3	12.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	952,069	12.9	11.6	11.7
減価償却費	546,885	7.4	9.0	9.2
経費	1,372,877	18.7	22.5	21.2
(うち委託料)	707,017	9.6	12.5	11.9
研究研修費	25,014			
資産減耗費	8,243			
(2) 医業外費用	437,283			
(うち支払利息)	57,075	0.8	1.2	1.3
(3) 特別損失	63,167			
損益	1,020,866			
純損益	958,585			
累積欠損金	-			
経常収支比率	112.3		105.6	106.9
医業収支比率	93.5		85.1	85.8
修正医業収支比率	89.1		82.2	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	8.6		11.3	9.7
他会計繰入金対医業収益比率	11.0		14.9	12.7
他会計繰入金対総収益比率	8.6		11.2	9.2
実質収益対経常費用比率	102.6		93.6	96.5

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	12,486,622
1 固定資産	6,777,806
(1) 有形固定資産	6,526,852
(2) 無形固定資産	49,390
(3) 投資その他の資産	201,564
2 流動資産	5,708,816
(1) 現金及び預金	4,145,567
(2) 未収金及び未収収益	1,548,570
(3) 貸倒引当金( )	9,899
(4) 貯蔵品	24,578
3 繰延資産	-
負債合計	8,700,253
1 固定負債	4,092,029
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,456,016
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,592,250
(7) 一ス債務	43,663
2 流動負債	1,231,376
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	475,624
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	233,999
(6) リ一ス債務	22,820
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	456,542
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	3,376,848
(1) 長期前受金	10,933,879
(2) 長期前受金収益化累計額( )	7,557,031
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	3,786,369
1 資本金	2,433,060
2 剰余金	1,353,309
(1) 資本金剰余金	132,370
(2) 利益剰余金	1,220,939
負債・資本合計	12,486,622
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	805,713	805,713
資本勘定繰入	261,542	261,542
計	1,067,255	1,067,255

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				福井県	
市町村・組合名	坂井市				
病院名	坂井市立三国病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	8,291 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	12	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上～200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	105	77.3	79.4	74.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	105	77.3	79.4	74.3
平均在院日数(一般病床のみ)		26.2	25.1	21.8

設立団体の状況		
人口(人)	88,481	
決算規模(千円)	47,380,415	
標準財政規模(千円)	24,083,015	
財政力指数	0.63	
経常収支比率(%)	89.6	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.0
	将来負担比率(%)	44.8

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,333,079			
1 経常収益	2,333,079			
(1) 医業収益	1,762,868			
(うち修正医業収益)	1,695,796			
入院収益	1,002,824			
外来収益	579,031			
診療収入計	1,581,855			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	181,013			
(うち他会計負担金)	67,072			
(2) 医業外収益	570,211			
(うち国・都道府県補助金)	200,735			
(うち他会計補助・負担金)	329,928			
(うち長期前受金戻入)	13,762			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,158,383			
2 経常費用	2,157,253			
(1) 医業費用	2,038,842			
職員給与費	1,151,287	65.3	60.2	66.7
材料費	234,022	13.3	25.3	17.8
(うち薬品費)	98,641	5.6	13.3	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	110,434	6.3	11.6	9.2
減価償却費	184,213	10.4	9.0	10.4
経費	465,331	26.4	22.5	28.7
(うち委託料)	223,560	12.7	12.5	13.3
研究研修費	3,989			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	118,411			
(うち支払利息)	41,712	2.4	1.2	1.3
(3) 特別損失	1,130			
損益	175,826			
純損益	174,696			
累積欠損金	2,342,609			
経常収支比率	108.2		105.6	105.7
医業収支比率	86.5		85.1	80.6
修正医業収支比率	83.2		82.2	76.5
他会計繰入金対経常収益比率	17.0		11.3	14.8
他会計繰入金対医業収益比率	22.5		14.9	20.6
他会計繰入金対総収益比率	17.0		11.2	14.9
実質収益対経常費用比率	89.7		93.6	90.0

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,388,139
1 固定資産	2,708,311
(1) 有形固定資産	2,675,261
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	33,050
2 流動資産	679,828
(1) 現金及び預金	305,498
(2) 未収金及び未収収益	370,063
(3) 貸倒引当金( )	960
(4) 貯蔵品	5,227
3 繰延資産	-
負債合計	2,478,510
1 固定負債	1,913,518
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,913,518
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リース債務	-
2 流動負債	447,009
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	240,369
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	66,028
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	140,302
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	117,983
(1) 長期前受金	157,924
(2) 長期前受金収益化累計額( )	39,941
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	909,629
1 資本金	3,252,238
2 剰余金	-2,342,609
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-2,342,609
負債・資本合計	3,388,139
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	317,000	397,000
資本勘定繰入	103,000	103,000
計	420,000	500,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	132.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況(令和3年度)</b>				都道府県名 福井県	
市町村・組合名	越前町				
病院名	国保織田病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	4,216 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	12	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	55	81.9	86.8	89.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	55	81.9	86.8	89.1
平均在院日数(一般病床のみ)		15.2	13.0	12.0

設立団体の状況	
人口(人)	20,118
決算規模(千円)	14,316,478
標準財政規模(千円)	8,064,381
財政力指数	0.33
経常収支比率(%)	95.1
健全化 判断比率	-
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	8.8
将来負担比率(%)	15.4

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	312,276			
1 経常収益	312,276			
(1) 医業収益	36,294			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	36,294			
(うち他会計負担金)	36,294			
(2) 医業外収益	275,982			
(うち国・都道府県補助金)	2,125			
(うち他会計補助・負担金)	101,056			
(うち長期前受金戻入)	22,796			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	292,755			
2 経常費用	292,755			
(1) 医業費用	133,922			
職員給与費	-	-	60.2	76.8
材料費	-	-	25.3	14.4
(うち薬品費)	-	-	13.3	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.6	6.0
減価償却費	80,015	220.5	9.0	11.4
経費	45,501	125.4	22.5	31.5
(うち委託料)	2,262	6.2	12.5	14.5
研究研修費	-			
資産減耗費	8,406			
(2) 医業外費用	158,833			
(うち支払利息)	8,833	24.3	1.2	1.4
(3) 特別損失	-			
経常損益	19,521			
純損益	19,521			
累積欠損金	-			
経常収支比率	106.7		105.6	103.4
医業収支比率	27.1		85.1	74.3
修正医業収支比率	-		82.2	70.1
他会計繰入金対経常収益比率	44.0		11.3	23.0
他会計繰入金対医業収益比率	378.4		14.9	34.1
他会計繰入金対総収益比率	44.0		11.2	22.9
実質収益対経常費用比率	59.8		93.6	79.7

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,558,207
1 固定資産	1,297,860
(1) 有形固定資産	1,297,753
(2) 無形固定資産	107
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	260,347
(1) 現金及び預金	217,158
(2) 未収金及び未収収益	43,189
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	921,245
1 固定負債	462,118
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	462,118
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時的借入金	-
2 流動負債	88,247
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	87,846
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	401
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	370,880
(1) 長期前受金	518,761
(2) 長期前受金収益化累計額( )	147,881
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	636,962
1 資本金	329,311
2 剰余金	307,651
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	307,651
負債・資本合計	1,558,207
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	93,776	137,350
資本勘定繰入	54,568	48,140
計	148,344	185,490

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				福井県	
市町村・組合名	公立小浜病院組合				
病院名	小浜病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透Ⅰ 訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	32,339 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	20	指定病院の状況	救臨 感へ 災 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	296	73.4	72.7	76.5
療養	50	68.4	79.0	81.4
結核	8	0.8	3.6	1.1
精神	100	74.9	75.9	80.9
感染症	2	100.0	83.3	0.7
計	456	72.0	73.0	76.3
平均在院日数(一般病床のみ)		15.9	15.9	15.7

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化	実質赤字比率(%)
判断比率	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	9,680,952			
1 経常収益	9,680,952			
(1) 医業収益	6,985,330			
(うち修正医業収益)	6,771,025			
入院収益	4,345,664			
外来収益	2,096,861			
診療収入計	6,442,525			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	542,805			
(うち他会計負担金)	214,305			
(2) 医業外収益	2,695,622			
(うち国・都道府県補助金)	977,223			
(うち他会計補助・負担金)	674,275			
(うち長期前受金戻入)	107,025			
(うち資本費繰入収益)	207,932			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	9,003,748			
2 経常費用	9,003,748			
(1) 医業費用	7,746,921			
職員給与費	4,039,623	57.8	60.2	57.5
材料費	1,431,319	20.5	25.3	27.9
(うち薬品費)	666,083	9.5	13.3	14.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	633,353	9.1	11.6	12.6
減価償却費	570,216	8.2	9.0	8.1
経費	1,522,469	21.8	22.5	19.1
(うち委託料)	464,042	6.6	12.5	10.0
研究研修費	91,513			
資産減耗費	91,781			
(2) 医業外費用	1,256,827			
(うち支払利息)	136,561	2.0	1.2	1.1
(3) 特別損失	-			
損益	677,204			
純損益	677,204			
累積欠損金	680,647			
経常収支比率	107.5		105.6	105.7
医業収支比率	90.2		85.1	88.4
修正医業収支比率	87.4		82.2	85.6
他会計繰入金対経常収益比率	9.2		11.3	9.5
他会計繰入金対医業収益比率	12.7		14.9	12.0
他会計繰入金対総収益比率	9.2		11.2	9.4
実質収益対経常費用比率	97.7		93.6	95.7

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	13,655,872
1 固定資産	11,265,187
(1) 有形固定資産	10,935,972
(2) 無形固定資産	8,831
(3) 投資その他の資産	320,384
2 流動資産	2,390,685
(1) 現金及び預金	702,312
(2) 未収金及び未収収益	1,636,197
(3) 貸倒引当金( )	349
(4) 貯蔵品	45,504
3 繰延資産	-
負債合計	11,327,962
1 固定負債	7,209,304
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	7,200,047
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時的借入金	9,257
2 流動負債	2,142,050
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	764,186
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	336,062
(6) リース債務	3,366
(7) 一時借入金	406,000
(8) 未払金及び未払費用	585,024
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,976,608
(1) 長期前受金	3,708,648
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,732,040
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	2,327,910
1 資本金	3,149,145
2 剰余金	-821,235
(1) 資本剰余金	404,414
(2) 利益剰余金	-1,225,649
負債・資本合計	13,655,872
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	897,615	888,580
資本勘定繰入	364,659	208,328
計	1,262,274	1,096,908

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	485,057	6.2

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	19.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				福井県	
市町村・組合名	公立小浜病院組合				
病院名	レイクヒルズ美方病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	13,137 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	9	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	42	75.1	76.0	83.9
療養	58	83.6	87.9	88.0
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	100	80.0	82.9	86.3
平均在院日数(一般病床のみ)		22.8	28.0	39.0

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化	実質赤字比率(%)
判断比率	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,087,565			
1 経常収益	1,087,565			
(1) 医業収益	738,106			
(うち修正医業収益)	738,106			
入院収益	579,652			
外来収益	135,862			
診療収入計	715,514			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	22,592			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	349,459			
(うち国・都道府県補助金)	10,705			
(うち他会計補助・負担金)	246,831			
(うち長期前受金戻入)	13,347			
(うち資本費繰入収益)	74,457			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,017,073			
2 経常費用	1,017,073			
(1) 医業費用	964,172			
職員給与費	618,738	83.8	60.2	66.7
材料費	86,234	11.7	25.3	17.8
(うち薬品費)	53,783	7.3	13.3	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	28,207	3.8	11.6	9.2
減価償却費	35,726	4.8	9.0	10.4
経費	221,718	30.0	22.5	28.7
(うち委託料)	115,234	15.6	12.5	13.3
研究研修費	733			
資産減耗費	1,023			
(2) 医業外費用	52,901			
(うち支払利息)	20,935	2.8	1.2	1.3
(3) 特別損失	-			
経常損益	70,492			
純損益	70,492			
累積欠損金	845,664			
経常収支比率	106.9		105.6	105.7
医業収支比率	76.6		85.1	80.6
修正医業収支比率	76.6		82.2	76.5
他会計繰入金対経常収益比率	22.7		11.3	14.8
他会計繰入金対医業収益比率	33.4		14.9	20.6
他会計繰入金対総収益比率	22.7		11.2	14.9
実質収益対経常費用比率	82.7		93.6	90.0

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	13,655,872
1 固定資産	11,265,187
(1) 有形固定資産	10,935,972
(2) 無形固定資産	8,831
(3) 投資その他の資産	320,384
2 流動資産	2,390,685
(1) 現金及び預金	702,312
(2) 未収金及び未収収益	1,636,197
(3) 貸倒引当金( )	349
(4) 貯蔵品	45,504
3 繰延資産	-
負債合計	11,327,962
1 固定負債	7,209,304
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	7,200,047
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時的借入金	9,257
2 流動負債	2,142,050
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	764,186
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	336,062
(6) リース債務	3,366
(7) 一時借入金	406,000
(8) 未払金及び未払費用	585,024
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,976,608
(1) 長期前受金	3,708,648
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,732,040
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	2,327,910
1 資本金	3,149,145
2 剰余金	-821,235
(1) 資本剰余金	404,414
(2) 利益剰余金	-1,225,649
負債・資本合計	13,655,872
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	239,952	246,831
資本勘定繰入	52,249	77,457
計	292,201	324,288

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	485,057	6.2

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	19.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。



病院事業決算状況(令和3年度)		都道府県名	
		福井県	
市町村・組合名	公立丹南病院組合		
病院名	丹南病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	15,070 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当
診療科数	16	指定病院の状況	救臨感へ災輪
許可公営企業		看護配置	7:1
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	175	66.1	62.1	72.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	179	64.6	60.7	70.7
平均在院日数(一般病床のみ)		10.1	11.4	12.4

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化	実質赤字比率(%)
判断比率	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	408,620			
1 経常収益	408,620			
(1) 医業収益	173,146			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	173,146			
(うち他会計負担金)	173,146			
(2) 医業外収益	235,474			
(うち国・都道府県補助金)	2,031			
(うち他会計補助・負担金)	26,949			
(うち長期前受金戻入)	119,599			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	337,127			
2 経常費用	337,127			
(1) 医業費用	306,579			
職員給与費	1,242	0.7	60.2	66.7
材料費	-	-	25.3	17.8
(うち薬品費)	-	-	13.3	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.6	9.2
減価償却費	279,369	161.3	9.0	10.4
経費	25,968	15.0	22.5	28.7
(うち委託料)	5,325	3.1	12.5	13.3
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	30,548			
(うち支払利息)	12,157	7.0	1.2	1.3
(3) 特別損失	-			
経常損益	71,493			
純損益	71,493			
累積欠損金	2,025,311			
経常収支比率	121.2		105.6	105.7
医業収支比率	56.5		85.1	80.6
修正医業収支比率	-		82.2	76.5
他会計繰入金対経常収益比率	49.0		11.3	14.8
他会計繰入金対医業収益比率	115.6		14.9	20.6
他会計繰入金対総収益比率	49.0		11.2	14.9
実質収益対経常費用比率	61.9		93.6	90.0

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,709,232
1 固定資産	4,506,215
(1) 有形固定資産	4,506,215
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	203,017
(1) 現金及び預金	199,060
(2) 未収金及び未収収益	3,957
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	2,511,423
1 固定負債	865,663
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	865,663
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	237,530
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	213,000
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	24,530
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,408,230
(1) 長期前受金	2,235,236
(2) 長期前受金収益化累計額( )	827,006
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	2,197,809
1 資本金	746,619
2 剰余金	1,451,190
(1) 資本金剰余金	3,476,501
(2) 利益剰余金	-2,025,311
負債・資本合計	4,709,232
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	202,592	200,095
資本勘定繰入	111,333	111,333
計	313,925	311,428

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	1169.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。